

地理教育研修会

地理教育専門委員会
委員長 滝沢 由美子

地理教育専門委員会では、研修プログラムの検討を進めるとともに、2007年2月から「地理教育研修会」を開催しています。始まったばかりですが、参加者のアンケートには、「楽しく研修会に参加でき、今後の授業に生かしていきたい。」という声が多く寄せられています。

研修会の概要は次のとおりです。

— 主な内容 —

- 地図教育の重要性 ○文学作品を使った地形図の読図と作業
- google earthを使って身近な地域の考察 ○空中写真や地図から知る地域の変容を考察
- 「MANDARA」を使って主題図・分布図の作成（パソコン実習を含む）

1 休日等を利用して参加者を自由に募って行った研修会

「生徒が地図を使った効果的な発表ができるよう指導方法の工夫改善を図る」をねらいとして、中学校の教員等を対象に、1回目を2007年2月17日（土）南埼玉郡菖蒲町立菖蒲中学校、2回目を7月22日（日）さいたま市立白幡中学校を会場に実施しました。

内容は、午前中に井田仁康委員が文学作品（壺井栄『二十四の瞳』）を使った地形図の読図と作業、午後から秋本弘章委員が地図教育の重要性や、「今昔マップー首都圏版」「MANDARA」といったコンピュータのソフトウェアを使っての主題図や分布図の作成及びプレゼンテーションについて研修を行いました。

また、2回目の研修では、1回目の研修内容を実際に中学校の授業で実践した例が報告されました。

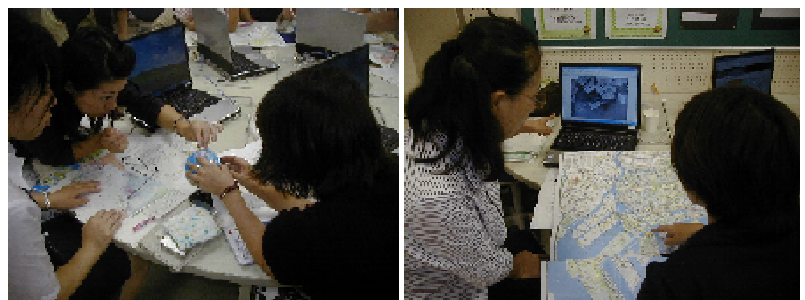
両会場をあわせ参加者は、のべ33名でした。



2 地域の教育研究会の研修計画に協力し、連携して行った研修会

「児童、生徒に地理学習をとおして効果的な授業ができるよう指導方法の工夫改善に役立たせる」をねらいとして、小学校教員で組織される江東区社会科教育研究会主催の定例研修会に、地理教育専門委員会から講師を派遣するかたちで、9月5日（水）の午後から江東区立小名木川小学校を会場に実施しました。

内容は、井田仁康委員が文学作品を使った地図帳の利用法、100円ショップで購入した地球儀を使った方位や大圏航路をあきらかにする作業、秋本弘章委員がgoogle earth、google map、国土交通省及び国土地理院のホームページにある空中写真の活用といったインターネットサイトの利用による教材開発の方法について研修を行いました。



参加者は36名でした。

※ 問い合わせ先

地理教育研修会に関する問い合わせは、下記の地理教育専門委員へご連絡ください。

- 吉田 和義（稲城市立長峰小学校 TEL042-331-3111）
- 平澤 香（南埼玉郡菖蒲町立菖蒲中学校 TEL0480-85-1201）
- 石塚 耕治（常磐大学コミュニティ振興学部 TEL029-232-2511）